

令和2年度 松阪商業高校マネジメントシート

1 目指す姿

(1) 目指す学校像		生徒・教職員が「誇り」をもち、保護者・地域から「信頼」される学校
(2)	育みたい 児童生徒像	自己指導能力(そのとき、その場で、どのような行動が適切であるか、自分で判断し、決定して実行する能力)を持った生徒
	ありたい 教職員像	<ul style="list-style-type: none"> * 生徒が主体的・対話的に学ぶ授業を目指した改善を進め、進路希望実現のための学力保障ができる教職員 * 共通認識を基盤として個々の特性を活かした連携が図れ、生徒に寄り添ったきめ細かい指導ができる教職員

2 現状認識

(1) 学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待	<p><生徒> * 安全安心に過ごせる充実した学校生活と進路希望の実現を望んでいる。</p> <p><保護者> * 生徒が安全安心な学校生活を送るとともに、進路希望の実現を期待している。</p> <p><地域> * 生徒の公共心とマナーが育成され、専門学科としての専門性や特色を生かして地域の活性化に貢献してほしいと期待している。</p>	
(2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待	連携する相手からの要望・期待	連携する相手への要望・期待
	<p><家庭> * 安全安心な教育環境と心身共に健康な生徒の育成 * 進路希望を実現するための支援 * 学校教育活動等の迅速な情報提供</p> <p><中学校> * 学力面、生徒指導面での中高の連携 * 外国人生徒の指導のための一層の連携</p> <p><地域社会> * 関係機関、事業所との連携・協力の推進 * 挨拶・身だしなみ等の指導 * 学校教育活動等の情報発信</p>	<p><家庭> * 学校の教育方針に対する理解と協力、家庭での基本的な生活習慣の教育</p> <p><中学校> * 基礎学力の向上、継続的な指導のための個々の生徒の情報共有</p> <p><地域社会> * 本校の専門性や特色を理解したうえでの生徒の活躍の場の提供</p>
(3) 前年度の学校関係者評価等	<p>○「授業アンケート」実施率が88.2%まで向上してきたから更に取組を進めてもらいたい。</p> <p>○生徒減少に向けてホームページや学校説明会で一層の情報発信に取り組んでもらいたい。</p> <p>○学校全体でSBP(ソーシャル・ビジネス・プロジェクト)の取組を活性化させて地域社会との連携を広げてもらいたい。</p> <p>○生徒指導事案の減少への取組は良い結果として現れてきている。</p> <p>○生徒・職員の数が減ることで様々な取組が衰退することが危惧される。</p>	

(4) 現状と課題	教育活動	<ul style="list-style-type: none"> * 単位制高校としての利点を生かし、少人数や習熟度講座を編成し、学習者へのきめ細かな指導を行い、希望進路の実現を図っている。 * 募集定数の確保が難しい状況が続くため、これまで以上に中学生やその保護者に学校の魅力を伝える必要がある。 * 基礎学力の定着・向上に向けて、生徒自身が自ら学習する習慣を身につけさせる仕掛けを考えていく必要がある。 * 商業や英語関係の高度な資格取得においては大きな実績を上げている。 * 「三重県いじめ防止条例」に基づき、いじめの防止及び早期発見に努め、生徒が望ましい人権意識をもち、安全安心な学校生活を送ることができるように取り組む必要がある。 * グローバル教育を推進するため、国際交流の機会を拡充する必要がある。
	学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> * 伝統ある地域の商業高校として、地元産業界等と強いネットワークで結ばれている。 * 学習活動や部活動、挨拶を始めとする礼儀や身なりなど、地域から一定の評価が得られており、引き続き基本的な生活習慣や社会性を身につけさせる取組を進める必要がある。 * 商業教育の拠点校として、高い専門性を有した教職員が配置され、スペシャリストを育成するノウハウを備えている。 * 生徒が主体的に学ぶことが出来る授業の構築を目指して、授業研究や授業改善の取組を推進することが求められる。 * 教職員の負担が増え続ける中、働き方改革を見据えた業務改善や精選が急がれる。

3 中長期的な重点目標

教育活動	<ul style="list-style-type: none"> * 生徒の「自己指導能力」の向上を図る。 * 基本的な生活習慣や社会的規律・礼儀を身につけた心身ともに健康な生徒を育成する。 * 「命の尊さ」や「いじめ防止」を様々な機会や方法を用いて繰り返して伝えていく。 * 生徒が主体的・対話的に学ぶ授業を目指した授業改善を推進する。（「授業アンケート」結果等の活用） * 高校生としての学力保障と自己実現に向けた生徒自身による進路決定意識を養う。 * 学校の魅力化・特色化として高度な資格（商業・英語）取得を進め、資格を活かせる進路指導を行う。 * グローバル教育推進のための国際交流の充実を図る。
学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> * 感染症予防に向けた措置を講じつつ、臨機応変に年間計画の見直しを図る。 * 「信頼される学校であるための行動計画（松阪商業高校）」に基づいた取り組みを推進する。 * 外部関係機関との連携による教育活動展開を進め、生徒が校外で学ぶ場を創出していく。 * 学校の教育活動の情報発信をさらに充実させてゆく。 * 働き方改革の推進に向けて総勤務時間の縮減等を推進する。（前年度） <ul style="list-style-type: none"> ・時間外労働時間の総平均を昨年比 月6%以上削減（未達成） ・個人年休取得日数を昨年比 年0.5日以上増加（平均15.0日/年） ・定時退校日を月1日実施し、退校できる職員の割合85%以上（未達成） ・部活動休養日を週1日設定し、休養日が取れる部活動の割合100%（達成） ・放課後に開催され、60分以内に終了する会議の割合70%以上（未達成）